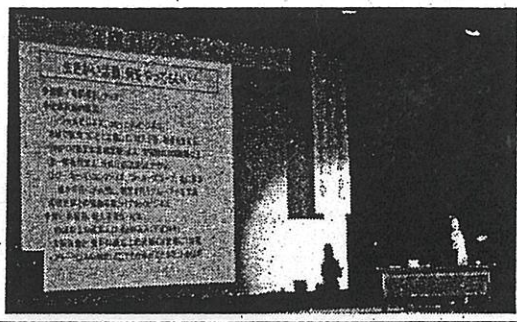


第二の人生楽しんで

幸手で 遠暦式 地域への関わり方を紹介

2016年度に満60歳を迎えた市民を祝う幸手市の「遠暦式」が23日、同市内国府間の北公民館で行われた。セカ



セカンドライフの過ごし方について助言するシニアライフアドバイザーの松本すみ子さん。23日、幸手市北公民館

ンドライフの過ごし方などについての情報を発信しようとする市が主催した。式典や講演、民謡歌手の松阪ゆづきさんによるトークや歌のアトラクションが行われた。

講演ではシニアライフアドバイザーの松本すみさんが「生涯現役 自分らしく輝くために」をテーマに、セカンドライフの過ごし方について助言。再雇用やボランティア、コミュニティビジネスの起業など、自分の能力を活かして地域と関わるさまざまな方法があることを紹介した。自分が本当は何をしたのか、どうしたらできるのかを考えて、これからの人生を楽しんでほしい」と締めくくった。アクティブシニアの地域デ

ビューを後押ししようと結成された「埼玉真地域デビュー隊」メンバーの鈴木一男さんも登壇。四つ葉のクローバーを通じて高齢者に元気を与えようと自身が設立した「幸せのクローバー会」の活動などを紹介した。

鈴木さんは「なるべし早くやりたいことを見つけて地域デビューを果たしてほしい。人と出会ってさまざまな話をする」と新しい世界が見えてくる」と、激励の言葉を送った。

参加した西村真さん(61)は「昨年に遠暦を迎えて若いころにやっていたギターを始め、弾き語りにも挑戦しよう」とボイストレーニングに通い始めた。講演では生きがいを持つ活動することが重要だという話を聞いて、自分の進む道は間違っていないと思うことができたと話していた。(原望美)